

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 21.11.17 第 173 回国会第 2 号

11 月 17 日（火）第 2 回の委員会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件

- ・藤井財務大臣、亀井国務大臣（金融担当大臣）、大塚内閣府副大臣、野田財務副大臣に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

中 塚 一 宏君（民主）

- ・現在の為替水準に対し藤井大臣はどのような認識を持っているか。
- ・中小企業金融円滑化法の実効性を高めるために金融検査マニュアルを改定する必要があるのではないか。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・関連企業から政治献金を受ける意思はあるか。
- ・鳩山政権が 4 年間消費税を引き上げない方針であるとするれば、平成 21 年度税制改正関連法の附則を修正すべきと考えるが、藤井大臣の認識を伺いたい。
- ・改正保険業法によって存続の危機にある自主共済を救う必要があると考えるが、亀井大臣の見解を伺いたい。

竹 本 直 一君（自民）

- ・鳩山総理の偽装献金問題について当局は寄附者の寄附金控除の正当性を調査すべきではないか。
- ・雇用調整助成金が失業率の水準を実態より押し下げて見せているのではないか。
- ・国会で議決された補正予算の執行を停止するなら国会の議決を経るべきではないか。
- ・中小企業を救うために真に必要な政策は何か。

野 田 毅君（自民）

- ・「コンクリートから人へ」というキャッチフレーズに対して亀井大臣はどのように考えるか、また、補正予算規模を変更する可能性について亀井大臣の認識を伺いたい。
- ・雇用対策の方向性について藤井大臣の見解を伺いたい。
- ・消費税増税の時期について伺いたい。

後藤田 正 純君（自民）

- ・今年度の経済対策の在り方について伺いたい。また、

補正予算の執行停止に対してどのように考えるか。

- ・事業仕分け作業を政治主導で行う必要性について亀井大臣の見解を伺いたい。
- ・消費者金融債務者の救済の必要性について亀井大臣の見解を伺いたい。

山 本 幸 三君（自民）

- ・G20 ピッツバーグ・サミットでは、世界的な経済金融危機の原因とされる「世界経済の不均衡」是正が合意されたが、我が国の経常黒字が過大に問題視されるのはおかしいのではないか。
- ・藤井大臣が円高を容認する発言をしたことにより、円高が進行したとの報道があったが、発言の真偽を伺いたい。
- ・今回の経済金融危機における日本銀行の金融政策は、主要国に比べて不十分だと考えるが、亀井大臣の見解を伺いたい。

石 井 啓 一君（公明）

- ・民主党マニフェストに掲げられた政策のうち、国民の支持が得られていない政策についても実施するのか。また、来年度予算に計上される新規施策について、その財源を国債発行に頼る可能性はあるのか。
- ・第 1 次補正予算の執行停止により経済に悪影響を与える一方で、新たに経済対策を盛り込んだ第 2 次補正予算を編成しようとすることは、整合性が取れないのではないか。
- ・自動車関係諸税の暫定税率については、自動車重量税等の取得・保有に係る暫定税率は軽減し、ガソリン税等の燃料課税については暫定税率を維持すべきと考えるが、藤井大臣の見解を伺いたい。